

<今日の伝言>

調布市議の不正ログイン問題で「問責決議」を行なった調布市議会に
市民による市政の会が「疑問・見直し」声明

調布市議会では1市議が先輩である元市議のフォローを受けるために会議システムのID・パスワード教え、元市議がそれを使用した問題をめぐって、これを政局にする動きもあり、とくにネット世界で加熱しています。この問題について、超党派の立場で長年にわたって市政を見つめてきた「市民による市政の会」が、調布市民の立場から冷静に判断しようとの「声明」を発表しました。同会は、い週間以上にわたる意見交換の上でまとめた「声明」を、4月11日に市議会議長としぎかい事務局、全議員、市長、さらに報道機関に届けました。

問責決議をめぐる経過について以下に、日程表的にご紹介し、「市政の会」の「声明」を添付します。

- 3/12 調布市議会本会議中に田村市議アカウントから各市議にクラウド上の画面共有を促す通知が発信された。元議員が田村市議から教わったID・パスワードを用いたことが判明。
- 3/13 幹事長会議で田村市議が説明、謝罪。
- 3/15 読売新聞「元調布市議不正ログイン 議会クラウド 共産現職ID伝える」
- 3/24 市議会議長が「遺憾」「警察と相談」との「議長声明」。その補足として、このシステムは「個人情報情報を格納しない運用」をしていると明記。
- 3/27 市議会本会議で28市議の内22人の連名による「問責決議案」が出され可決
- 3/28 読売新聞「共産2市議に問責決議 調布不正ログイン問題」
公明新聞が「議案や執行部からの提供資料など機密情報を格納している」と報道
(これらの報道の「素早さ」、議長声明との隔たりに違和感！)
- 3/31 市議会運営委員会「会議システムIDの漏洩及び不正使用について」
公明「内々に終わらせず警察・検察に持っていくことも」
立憲「当事者2人から返答がかえってきていない」「語られてないことがあるのでは」
自民「まだ他の人が見ているのでは」
- 4/2 市民による市政の会 ①問責決議に違和感、②市議会関係資料の秘密的取り扱いの見直しを、等を求める市議会に求める声明を出すことを確認し、4/11に提出。

<上記中、3/15、3/28に「素早く」報道した読売新聞の紙面>

